

## 平成 30 年度一般会計主要事業一覧

	予 算 額	増減比
一 般 会 計	28,380,000 千円	△5.8%
特 別 会 計	16,127,392 千円	△10.5%
計	44,507,392 千円	△7.6%
企 業 会 計	3,477,456 千円	△2.2%
合 計	47,984,848 千円	△7.2%

### 1 市民会館管理運営事業【継続】

116,876 千円／生涯学習課

新市民会館の管理運営計画に掲げた「つながる・はぐくむ・とどける」をコンセプトに、貸館事業の拡充に加え、コンサートや演劇など質の高い公演等、芸術文化創造拠点として様々な事業を展開する。

- ・施設管理事業 74,218 千円
- ・芸術文化振興事業 42,658 千円

### 2 セーフコミュニティ・セーフスクール事業【継続】

11,845 千円／危機管理課、教育研究所

市民と行政、関係機関などが協働して「健康で安心して安全に暮らせるまち」を創造する取組を行う。特に本年 11 月には、厚木で開催されるアジア地域セーフコミュニティ会議に市内でセーフコミュニティに取り組んでいる各対策委員会が参加し、活動状況を発表する。また、セーフスクールは、前回認証から 3 年が経過し、再認証の取得を目指す。

- ・セーフコミュニティ推進事業 5,886 千円
- ・セーフスクール推進事業 5,959 千円

### 3 地方創生推進事業（秩父版 CCRC 推進事業）【新規、継続（拡充）】

287,143 千円／地域政策課

サービス付き高齢者向け住宅（40 戸）を建設する事業者に補助金を交付するとともに、交流拠点施設を整備し、豊島区等都心からの転入を促進し、人口増を目指す。

- ・秩父版 CCRC 推進アドバイザー委託料 40,000 千円
- ・サービス付き高齢者向け住宅整備事業補助金 180,000 千円
- ・交流拠点施設設計・工事 66,653 千円 ほか

### 4 こども医療費給付事業【継続（拡充）】

206,236 千円／こども課

こども医療費の支給対象を平成 30 年 10 月から高校 3 年生（15 歳から 18 歳まで拡大）までとし、保険診療報酬一部負担金を支給して、養育者の医療費の負担を軽減する。

- ・こども医療費審査支払事務委託料 8,590 千円
- ・システム改修委託料 2,846 千円
- ・こども医療費 194,800 千円（うち追加分 10,000 千円）

### 5 吉田保育所調理室等移転事業【新規】

20,900 千円／こども課

吉田保育所及び吉田幼稚園を統合し、（仮称）吉田こども園（幼保連携型認定こども園）へ移行するため、調理室の整備等施設の改修を行い定員増加を図る。

- ・消耗品費 900 千円
- ・調理室等移転工事 20,000 千円

- 6 認定こども園整備事業【新規】** 453,410千円／こども課  
子育てと仕事の両立を支援し、教育・保育の充実を図るため、私立幼稚園の認定こども園化に向けた施設整備に対し、助成金を交付する。  
・認定こども園整備事業補助金 453,410千円  
※ 財源内訳 保育実施部分 国 1/2 市 1/4 事業者 1/4  
教育実施部分 国 1/2 市 1/4 事業者 1/4
- 7 健康長寿埼玉モデル普及促進事業、秩父市版健康マイレージ事業【新規、継続】** 3,702千円／保健センター  
「健康長寿埼玉モデル普及促進事業」として、「新！はつらつ筋力アップ教室」の開催や自主トレーニング、体力測定など、「健康」にこだわった施策の展開を推進する。また、健康増進のため、各種健診や運動など、健康に関する事業等に参加することでポイントを付与し、ポイントに対し特典を提供する「秩父市版健康マイレージ事業」を推進し、市民の健康増進や医療費の抑制を図る。  
・健康長寿埼玉モデル普及促進事業 3,006千円  
・秩父市版健康マイレージ事業 696千円
- 8 公共施設省エネ改修事業【新規】** 3,000千円／環境立市推進課  
公共施設省CO<sub>2</sub>化計画に基づき、公共施設の省CO<sub>2</sub>化の改修を実施して、CO<sub>2</sub>排出量の削減を図る。平成30年度は、15%以上削減可能な3施設（特別養護老人ホーム偕楽苑外（ほのぼのマイタウン）、文化体育センター、吉田元気村）の空調機やLED照明、給湯器等の設備をリース方式により改修し、CO<sub>2</sub>削減を図る。  
・省エネ設備借上料（15年契約の1年目） 3,000千円（3か月分）
- 9 省エネ家電買い替え助成金【継続（拡充）】** 2,000千円／環境立市推進課  
CO<sub>2</sub>排出量の削減を図るため、電気冷蔵庫を一定の省エネ基準を満たす製品に買い替えた市民に対し、定額2万円の補助金を交付する。  
・省エネ家電（冷蔵庫）買い替え助成金 2万円×100件= 2,000千円
- 10 地域新電力会社設立事業【新規】** 35,114千円／環境立市推進課  
秩父市版シュタットバルケ構想のもと、秩父地域新電力会社を設立する。市域内にあるごみ処理発電等の再生可能エネルギーを活用した電力の調達、販売を行い、雇用の創出、地域経済の活性化及び再生可能エネルギーの地産地消を実現する。  
・新電力会社設立委託料 9,000千円  
・出資金 20,000千円 ほか
- 11 上水道事業（定住含む）【継続】** 979,037千円／生活衛生課  
水道事業の広域化に伴い、これまでの事業体の給水区域を結ぶ基幹管路の整備や老朽管路の耐震化等、施設整備を推進する。  
・広域水道事業の推進（補助金、出資金） 912,737千円  
・旧秩父セメント第1プラント跡地活用に伴う水道工事（出資金） 50,000千円  
・水道広域化事業（定住） 16,300千円

- 12 (仮称) 秩父ビジネスプラザ事業【新規】 39,425 千円／企業支援センター  
(仮称) 秩父ビジネスプラザ(旧田代ビル)を改修し、一般社団法人おもてなし観光公社の事務所として、また、創業希望者、企業にお試しサテライトオフィスとして貸し出すなど、訪れる人に魅力を発信し、移住政策を推進する。
- ・設計業務委託料 2,400 千円
  - ・大規模改修工事費 30,000 千円
  - ・土地購入費 6,305 千円 ほか
- 13 インバウンド政策の促進【新規、継続】 2,500 千円／観光課  
観光案内板の多言語化を継続して進めるとともに、外国人観光客の誘客促進策として、観光協会へ補助金を交付し世界へ向けて秩父をPRする。また、市民ボランティアと協働で外国人案内ガイドを養成する。
- ・観光案内板多言語化作成業務委託料 1,500 千円
  - ・外国人観光客誘客促進補助金 1,000 千円
- 14 旧秩父セメント第1プラント跡地対策事業〔市道(中央)632号線道路改築工事〕【新規】 200,150 千円／道づくり課  
旧秩父セメント第1プラント跡地の有効活用(企業誘致)を加速させるため、腰田堀に沿った市道(中央)632号線を整備するとともに、用途地域の変更を行い、企業誘致を推進する。
- ・市道(中央)632号線道路改築工事 200,150 千円
- 15 都市計画マスタープラン等作成事業【新規】 16,000 千円／都市計画課  
都市計画マスタープランの計画期間終了に伴い、今後のまちづくりの基本となる新たな都市計画マスタープランを策定する。また、同時に立地適正化計画を策定し、地域ごとの詳細な現状把握と需給判断を行い、今後の都市建設の方針を決定する(H30～32年度の3か年事業の1年目)。
- ・都市計画マスタープラン等作成業務委託料(立地適正化計画含む) 16,000 千円
- 16 防災行政無線システム整備事業【継続】 544,810 千円／危機管理課  
平成29年度から2カ年の継続事業として、防災行政無線システムのデジタル化等、迅速かつ確かな防災・災害情報の伝達体制を整備する(H29～30年度の2か年事業の2年目、2か年の総事業費868,310千円)
- ・防災行政無線システム整備工事 542,110 千円
  - ・防災行政無線システム整備工事監理業務委託料 2,700 千円
- 17 英語教育強化推進事業【継続(拡充)】 38,495 千円／教育研究所  
学習指導要領が改訂され、平成32年度より小学校3年生から外国語活動が導入され、5、6年生は、週2時間の授業が行われる。こうしたことから、外国人の英語指導助手(ALT)を1名増員し9名とし、外国語活動コーディネーター(日本人)4名とともに、英語におけるコミュニケーション能力や教員の授業力の向上を図る。また、中学生を対象に、ALTを講師に英語土曜学習(17回)を実施する。
- ・英語指導助手事業 35,910 千円
  - ・英語土曜学習事業(英検道場の充実) 1,930 千円 ほか

- 18 ICTを活用した教育推進事業【継続】 11,337千円／教育研究所  
ICT機器（タブレット端末等）を各学校に順次配備し、主体的な学習を行い、児童生徒一人ひとりの学習意欲の向上を図る。平成30年度は、教職員用タブレット端末を各小学校の学級数の半数程度に整備するとともに、大型テレビを各小中学校の全学級に、実物投影機を各小学校の全学年に配備する。  
・タブレット端末使用料 2,686千円  
・周辺機器購入 8,000千円 ほか
- 19 普通教室空調設備設置事業【継続】 2,780千円／教育総務課  
小中学校における児童・生徒の健康面の確保及び学力向上のため、各学校の普通教室に空調設備を設置する。計画期間5年中、4年目となり、平成29年度にすべての小学校で設置が完了したことにより、平成30年度からは中学校への設置を開始する。  
・第5期設計業務委託（高中、荒中、吉中、大田中） 2,780千円  
※普通教室空調設備設置第4期工事（一中、影中、二中、尾中）120,370千円は、国の補正により、前倒して平成29年度予算で実施する（平成30年3月補正）。
- 20 秩父第一中学校不具合箇所改修事業【継続】 10,000千円／教育総務課  
秩父第一中学校不具合箇所改修事業計画に基づき、劣化・損傷の激しい普通教室棟3・4階の引き戸等の改修を行う。  
・秩父第一中学校不具合箇所改修工事 10,000千円
- 21 尾田蒔中学校校舎大規模改造事業【新規】 14,990千円／教育総務課  
小中学校大規模改造事業等実施計画に基づき、尾田蒔中学校校舎の大規模改造工事実施設計業務を委託し、平成31年度以降の改造、完成を目指す。  
・尾田蒔中学校校舎大規模改造工事実施設計業務委託料 14,990千円
- 22 全国山・鉾・屋台保存連合会総会秩父大会事業【新規】 2,500千円／文化財保護課  
国の重要有形・無形民俗文化財に指定されている「全国山・鉾・屋台行事」の保持団体である「全国山・鉾・屋台保存連合会」の平成30年度総会を、秩父市を会場として、12月1日・2日に開催する。  
・全国山・鉾・屋台保存連合会総会開催負担金 2,500千円
- 23 秩父神社社殿保存修理事業【新規】 1,485千円／文化財保護課  
県指定有形文化財「秩父神社社殿」について、社殿の彫刻、建具の損失など、各部位で今後の保護保存に大きく影響を及ぼす状況が確認されたことから、平成30年度は、修理の設計に対し補助金を交付する。  
・秩父神社社殿保存修理補助金 1,485千円  
※ 県1/2、市1/4、所有者1/4
- 24 荒川共同調理場改修事業【新規】 35,200千円／保健給食課  
学校給食共同調理場再配置計画に基づき、荒川共同調理場の調理能力及び衛生環境の向上を図り、平成31年度からの影森小学校共同調理場との統合に備える。  
・厨房機器一式（備品購入費） 30,000千円  
・荒川共同調理場改修工事 4,400千円 ほか